



一年を振り返ってみるよ…

この一年をふりかえってみると、みなさんの学校図書館の利用の仕方が上手になっていいるなと感じることがありました。たとえば、カウンターの順番待ちの列がビシッときれいに並んで待っていたり、騒がず静かに読書をして、いつもより静かに図書室を利用出来ていたりしたことです。それに、なんといっても貸出数が増えていたことが一番うれしい出来事でした。特に一学期は四月末から五月末が休校だったにもかかわらず、ほとんどの学校で去年の一学期より増えている学校が多かったのが驚きです！休みがあったのに増えるという事はなかなかないので、名張の生徒のみんなはすごいと、改めて思いました。

やっぱり本を読むのは楽しいので、たくさん本を読んで、その中からお気に入りの一冊を見つけ、どんな時も元気が出るようにしたいですね。



返却忘れ、ありませんか？

☆名張市内小中学校の春休みは、本の貸し出しがありません。

3月中に必ず返却しましょう。また、長い間借りっぱなしの本はありませんか？特に3年生は卒業までに返すのを忘れないようにしましょう。（何年も前の卒業生が、ずっと借りていた本を持ってくることもあります。）

かばんの中、教室、机の中、家の中、よく確認してください。もし、自分が本を借りているかどうか分からなかったら、学校図書館で聞いてみましょう。



**立つ鳥跡
にご
を濁さず！
忘れずに返
そうね！**



一年間、学校図書館に来てくれてありがとう！

今回のおしらせ

- 本の返却について
- おすすめの本紹介



名張市内中学校のおすすめ本紹介！

今年入った本の中から、図書担当の先生方のおすすめ本を紹介します！



名張中学校 『考える読書 第65回青少年読書感想文全国コンクール入賞作品集』

編：全国学校図書館協議会 発行：毎日新聞出版

子どもの感想文ですが、その本を読んでいなくても、作文だけでも「なるほど」とか「ハッ」と思われるものが沢山載っています。他の子どもがどんな風に本を読んで、そこからどんなことを感じ取っているのか、新しい発見にもなるし、自分の読み方や考え方も広がると思います。



赤目中学校 『おとぎカンパニー 1・2日本昔ばなし編 3妖怪編』

著：田丸 雅智 絵：uni 発行：光文社

誰もが読んだことのある、日本昔話や海外の童話を、大胆にアレンジした作品です。1話5分でユーモアあふれる世界に読者をいざなう珠玉のショートショート集です。どこから読んでも大丈夫です。心にやすらぎを与えてくれる本です。是非読んでみてください。



桔梗が丘中学校 『めんどくさがりな きみのための文章教室』

著：はやみね かおる 発行：飛鳥新社

作文や書くことが苦手な人が、読んで書き方を知り、意欲が高まると思いました。横書きでイラストもあり、読みやすいです。都会のトム&ソーヤ、名探偵夢水清志郎事件ノートの作者なので、このシリーズが好きな人にもおすすめします。



北中学校 『始まりの木』

著：夏川 草介 絵：いせ ひでこ 発行：小学館

このご時世だからこそ、その場を旅しているような情景を浮かばせる言葉がたくさん詰まっている。自然と学問と人間の内なるものを組み合わせ、たくさんのことを考えさせられた本でした。



南中学校 『2.43^{せいゐんこうこう}清陰高校男子バレー部』（文庫版）

著：かべい ユカコ 絵：山川 えいじ 発行：集英社

思春期をむかえた子どもたちの葛藤と、バレーボールに青春をかける生徒たちの絆。ぜひ、中学生に読んでほしい本です。

物語から読書感想文集まで、様々な本を紹介していただきました。『考える読書』は、読書感想文の書き方が分からない人におすすめです。どんな事を書けばいいのか？文章の書き方は？このあたりが『めんどくさがりなきみのための文章教室』と併せて読めば解決できるかもしれません。『おとぎカンパニー』『始まりの木』『2.43 清陰高校男子バレー部』も是非手に取って読んでみましょう！